

科目名	インターンシップ		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

内容

1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中(前期)、または春季休暇期間中(後期)を中心に約2週間(実質10日、実労60時間以上)研修を行う。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 就職委員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

3. 実施例

パスポートセンター、住信ビジネスサービス、プリンスホテル、ベルク 他

評価

学 生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート(40点)、受入先評価(40点)、教員による巡回指導の状況確認(20点)を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】関連する業界の企業研究をおこない、また、社会人としてのマナーを確認する。

【事後学修】今後の社会活動やアルバイトにおいて実践力をつけ、キャリア活動に生かす。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

使用しません。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

短期大学の二年間で習得すべきアカデミックスキルと、社会の中で確かな人間関係を築き上げながら困難を乗り越えていくためのライフスキル(生きる力)を身に付けるための授業です。一方的に講義を聴くだけではなく、グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、次の 1 ~ 5 の内容を学びます。

- 1 短期大学で過ごす2年間の意味を考えます。
- 2 自分を尊重すると同時に他人を尊重し、自分のことばで語る方法を身に付けます。
- 3 グループワークを通して、一つの問題を考え合います。
- 4 日常生活で生じる様々なストレスに対処する方法を学びます。
- 5 自分の未来に向けて目標を設定し、より良い選択をするための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容

1	基礎ゼミとは？
2	OPAC講習
3	学生生活の学びについて
4	ノート・テイキング
5	ワークショップ「 さんの取扱説明書」取材
6	学生生活の学びについて
7	ワークショップ「ポジティブシンキング」
8	ワークショップ「クルーザー」
9	ワークショップ「ワールドカフェ」
10	レポートの書き方
11	ディスカッション
12	ディスカッション
13	学生生活の学びについて
14	マナー講座
15	夏休みに向けて

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておくこと。

【事後学修】授業で学んだことを、実生活で実践してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。

【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。

【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に受講する「基礎ゼミ」の発展的内容の授業です。グループワークやロールプレイ、ディベートなど、さまざまなワークショップを通して社会をしなやかに生き抜くためのライフスキル(生きる力)を身に付けます。ライフスキルに加え、間近に迫る就職活動を意識して、自分から積極的に行動し、自分なりのことばで表現する練習を行います。最終的には、他人と上手くコミュニケーションしながら、よりよい人生の選択するための力を養います。

都合により、以下の授業内容・順番が変わる場合もあります。

内容	
1	私の夏休み
2	ワークショップ
3	OGゲスト講座
4	コミュニケーションスタディ(1)
5	コミュニケーションスタディ(2)
6	ワークショップ
7	社会を知る(1)
8	社会を知る(2)
9	演劇ワークショップ(1)
10	演劇ワークショップ(2)
11	就活入門講座1
12	ワークショップ
13	就活入門講座2
14	わたしのこれから
15	まとめ

評価

平常の受講態度(20点)、授業中の提出物(40点)、学期末の提出物(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回の授業内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習したことを実生活で実践する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布する。

科目名	日本語表現		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語を適切に表現する上で必要な敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字の6領域の内容を理解し、ことばの知識と表現力を身につける。実生活に即した場面を想定した問題を解くことで、社会人になるにあたって必要な日本語力を養う。

科目の概要

テキストに掲載されている問題を解き、より正確な日本語力を身につける。また、随時、確認テストを行い、知識の定着をはかる。

学修目標

日本語を適切に理解し活用すること、日本語に対する関心を高め、積極的にことばを学ぶ態度を養うことが目標である。

内容

1	オリエンテーション 日本語を学ぶ意義を考える
2	敬語 1 (尊敬語・謙譲語・丁寧語)
3	敬語 2 (場面や状況に応じたことばの使い分け)
4	敬語 3 (間違いやすい敬語)
5	敬語の学習のまとめ
6	文法 1 (活用・可能動詞・受身・使役・文のねじれ)
7	文法 2 (接続語・助動詞・助詞)
8	文法の学習のまとめ
9	語彙 1 (言葉と言葉の関係)
10	語彙 2 (類義語・対義語)
11	言葉の意味 1 (多義語・言葉の使い方)
12	言葉の意味 2 (慣用句)
13	表記 (漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り)
14	漢字 (語構成・形の似た漢字・同音異義語・同音異字・同訓異字・四字熟語)
15	まとめ

評価

平常点 (授業中に課す確認テストなど) (40%) 期末テスト (60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】それぞれの分野の解説部分に目を通す。

【事後学修】間違った問題、理解が浅い内容について、再度問題を解いてみる。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】日本語検定委員会編（2010）『ステップアップ日本語講座 中級』東京書籍

科目名	日本語表現		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語を適切に表現する上で必要な敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字の6領域の内容を理解し、ことばの知識と表現力を身につける。実生活に即した場面を想定した問題を解くことで、社会人になるにあたって必要な日本語力を養う。

科目の概要

テキストに掲載されている問題を解き、より正確な日本語力を身につける。また、随時、確認テストを行い、知識の定着をはかる。

学修目標

日本語を適切に理解し活用すること、日本語に対する関心を高め、積極的にことばを学ぶ態度を養うことが目標である。

内容	
1	オリエンテーション 日本語を学ぶ意義を考える
2	敬語1(尊敬語・謙譲語・丁寧語)
3	敬語2(場面や状況に応じたことばの使い分け)
4	敬語3(間違いやすい敬語)
5	敬語の学習のまとめ
6	文法1(活用・可能動詞・受身・使役・文のねじれ)
7	文法2(接続語・助動詞・助詞)
8	文法の学習のまとめ
9	語彙1(言葉と言葉の関係)
10	語彙2(類義語・対義語)
11	言葉の意味1(多義語・言葉の使い方)
12	言葉の意味2(慣用句)
13	表記(漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り)
14	漢字(語構成・形の似た漢字・同音異義語・同音異字・同訓異字・四字熟語)
15	まとめ

評価

平常点(授業中に課す確認テストなど)(40%) 期末テスト(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】それぞれの分野の解説部分に目を通す。

【事後学修】間違った問題、理解が浅い内容について、再度問題を解いてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】日本語検定委員会編（2010）『ステップアップ日本語講座 中級』東京書籍

科目名	日本語表現		
担当教員名	稲葉 美樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語を適切に表現する上で必要な敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字の6領域の内容を理解し、ことばの知識と表現力を身につける。実生活に即した場面を想定した問題を解くことで、社会人になるにあたって必要な日本語力を養う。

科目の概要

テキストに掲載されている問題を解き、より正確な日本語力を身につける。また、随時、確認テストを行い、知識の定着をはかる。

学修目標

日本語を適切に理解し活用すること、日本語に対する関心を高め、積極的にことばを学ぶ態度を養うことが目標である。

内容

1	オリエンテーション 日本語を学ぶ意義を考える
2	敬語1(尊敬語・謙譲語・丁寧語)
3	敬語2(場面や状況に応じたことばの使い分け)
4	敬語3(間違いやすい敬語)
5	敬語の学習のまとめ
6	文法1(活用・可能動詞・受身・使役・文のねじれ)
7	文法2(接続語・助動詞・助詞)
8	文法の学習のまとめ
9	語彙1(言葉と言葉の関係)
10	語彙2(類義語・対義語)
11	言葉の意味1(多義語・言葉の使い方)
12	言葉の意味2(慣用句)
13	表記(漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り)
14	漢字(語構成・形の似た漢字・同音異義語・同音異字・同訓異字・四字熟語)
15	まとめ

評価

平常点(授業中に課す確認テストなど)(40%) 期末テスト(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】それぞれの分野の解説部分に目を通す。

【事後学修】間違った問題、理解が浅い内容について、再度問題を解いてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】日本語検定委員会編（2010）『ステップアップ日本語講座 中級』東京書籍

科目名	日本語表現		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語を適切に表現する上で必要な敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字の6領域の内容を理解し、ことばの知識と表現力を身につける。実生活に即した場面を想定した問題を解くことで、社会人になるにあたって必要な日本語力を養う。

科目の概要

テキストに掲載されている問題を解き、より正確な日本語力を身につける。また、随時、確認テストを行い、知識の定着をはかる。

学修目標

日本語を適切に理解し活用すること、日本語に対する関心を高め、積極的にことばを学ぶ態度を養うことが目標である。

内容

1	オリエンテーション 日本語を学ぶ意義を考える
2	敬語1(尊敬語・謙譲語・丁寧語)
3	敬語2(場面や状況に応じたことばの使い分け)
4	敬語3(間違いやすい敬語)
5	敬語の学習のまとめ
6	文法1(活用・可能動詞・受身・使役・文のねじれ)
7	文法2(接続語・助動詞・助詞)
8	文法の学習のまとめ
9	語彙1(言葉と言葉の関係)
10	語彙2(類義語・対義語)
11	言葉の意味1(多義語・言葉の使い方)
12	言葉の意味2(慣用句)
13	表記(漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り)
14	漢字(語構成・形の似た漢字・同音異義語・同音異字・同訓異字・四字熟語)
15	まとめ

評価

平常点(授業中に課す確認テストなど)(40%) 期末テスト(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】それぞれの分野の解説部分に目を通す。

【事後学修】間違った問題、理解が浅い内容について、再度問題を解いてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】日本語検定委員会編（2010）『ステップアップ日本語講座 中級』東京書籍

科目名	日本語表現		
担当教員名	井上 愛、上野 左絵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語を適切に表現する上で必要な敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字の6領域の内容を理解し、ことばの知識と表現力を身につける。実生活に即した場面を想定した問題を解くことで、社会人になるにあたって必要な日本語力を養う。

科目の概要

テキストに掲載されている問題を解き、より正確な日本語力を身につける。また、随時、確認テストを行い、知識の定着をはかる。

学修目標

日本語を適切に理解し活用すること、日本語に対する関心を高め、積極的にことばを学ぶ態度を養うことが目標である。

内容

1	オリエンテーション 日本語を学ぶ意義を考える
2	敬語1(尊敬語・謙譲語・丁寧語)
3	敬語2(場面や状況に応じたことばの使い分け)
4	敬語3(間違いやすい敬語)
5	敬語の学習のまとめ
6	文法1(活用・可能動詞・受身・使役・文のねじれ)
7	文法2(接続語・助動詞・助詞)
8	文法の学習のまとめ
9	語彙1(言葉と言葉の関係)
10	語彙2(類義語・対義語)
11	言葉の意味1(多義語・言葉の使い方)
12	言葉の意味2(慣用句)
13	表記(漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り)
14	漢字(語構成・形の似た漢字・同音異義語・同音異字・同訓異字・四字熟語)
15	まとめ

評価

平常点(授業中に課す確認テストなど)(40%) 期末テスト(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】それぞれの分野の解説部分に目を通す。

【事後学修】間違った問題、理解が浅い内容について、再度問題を解いてみる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】日本語検定委員会編（2010）『ステップアップ日本語講座 中級』東京書籍

科目名	日本語表現		
担当教員名	船戸 はるな		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	文章表現		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

様々なタイプの文章を書くことで、大学生に求められるアカデミックな表現力を身につける。読み手を意識した伝わる文章を書く。

科目の概要

自己PR、Eメール、説明文、意見文などの文章の執筆を通して、目的にあわせて文章を論理的に構成する力を習得する。そのうえで、就職活動を意識した実践的な文書作成能力を身につける。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせないアカデミックな文章作成技法を身につける。

学修目標

文章の基本的な書き方を理解し、その知識を日々の学習に活かす。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものである。

受講生の主体的・積極的な取り組みを期待する。

1	ガイダンス
2	話しことばと書きことば
3	論理的な表現とは
4	指示表現と接続表現
5	効果的な自己PR文を書く
6	自己PR文を推敲する
7	意見文を書く
8	意見文を推敲する
9	レポートを書く(1)
10	レポートを書く(2)
11	履歴書を書く(1)
12	履歴書を書く(2)
13	履歴書を書く(3)
14	就職試験における課題作文について
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(40%) 学期末に課す課題(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】スケジュールに従い、該当の学習部分について目を通す。自らの文章力について振り返る。

【事後学修】学習内容を活かし推敲に取り組む。わかりやすい文章の書き方を意識し、そのスキルの向上に努める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考書】授業内で指示する

科目名	文章表現		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

様々なタイプの文章を書くことで、大学生に求められるアカデミックな表現力を身につける。読み手を意識した伝わる文章を書く。

科目の概要

自己PR、Eメール、説明文、意見文などの文章の執筆を通して、目的にあわせて文章を論理的に構成する力を習得する。そのうえで、就職活動を意識した実践的な文書作成能力を身につける。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせないアカデミックな文章作成技法を身につける。

学修目標

文章の基本的な書き方を理解し、その知識を日々の学習に活かす。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものである。

受講生の主体的・積極的な取り組みを期待する。

1	ガイダンス
2	話しことばと書きことば
3	論理的な表現とは
4	指示表現と接続表現
5	効果的な自己PR文を書く
6	自己PR文を推敲する
7	意見文を書く
8	意見文を推敲する
9	レポートを書く(1)
10	レポートを書く(2)
11	履歴書を書く(1)
12	履歴書を書く(2)
13	履歴書を書く(3)
14	就職試験における課題作文について
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(40%) 学期末に課す課題(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】スケジュールに従い、該当の学習部分について目を通す。自らの文章力について振り返る。

【事後学修】学習内容を活かし推敲に取り組む。わかりやすい文章の書き方を意識し、そのスキルの向上に努める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考書】授業内で指示する

科目名	文章表現		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

様々なタイプの文章を書くことで、大学生に求められるアカデミックな表現力を身につける。読み手を意識した伝わる文章を書く。

科目の概要

自己PR、Eメール、説明文、意見文などの文章の執筆を通して、目的にあわせて文章を論理的に構成する力を習得する。そのうえで、就職活動を意識した実践的な文書作成能力を身につける。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせないアカデミックな文章作成技法を身につける。

学修目標

文章の基本的な書き方を理解し、その知識を日々の学習に活かす。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものである。

受講生の主体的・積極的な取り組みを期待する。

1	ガイダンス
2	話しことばと書きことば
3	論理的な表現とは
4	指示表現と接続表現
5	効果的な自己PR文を書く
6	自己PR文を推敲する
7	意見文を書く
8	意見文を推敲する
9	レポートを書く(1)
10	レポートを書く(2)
11	履歴書を書く(1)
12	履歴書を書く(2)
13	履歴書を書く(3)
14	就職試験における課題作文について
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(40%) 学期末に課す課題(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】スケジュールに従い、該当の学習部分について目を通す。自らの文章力について振り返る。

【事後学修】学習内容を活かし推敲に取り組む。わかりやすい文章の書き方を意識し、そのスキルの向上に努める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考書】授業内で指示する

科目名	文章表現		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

様々なタイプの文章を書くことで、大学生に求められるアカデミックな表現力を身につける。読み手を意識した伝わる文章を書く。

科目の概要

自己PR、Eメール、説明文、意見文などの文章の執筆を通して、目的にあわせて文章を論理的に構成する力を習得する。そのうえで、就職活動を意識した実践的な文書作成能力を身につける。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせないアカデミックな文章作成技法を身につける。

学修目標

文章の基本的な書き方を理解し、その知識を日々の学習に活かす。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものである。

受講生の主体的・積極的な取り組みを期待する。

1	ガイダンス
2	話しことばと書きことば
3	論理的な表現とは
4	指示表現と接続表現
5	効果的な自己PR文を書く
6	自己PR文を推敲する
7	意見文を書く
8	意見文を推敲する
9	レポートを書く(1)
10	レポートを書く(2)
11	履歴書を書く(1)
12	履歴書を書く(2)
13	履歴書を書く(3)
14	就職試験における課題作文について
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(40%) 学期末に課す課題(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】スケジュールに従い、該当の学習部分について目を通す。自らの文章力について振り返る。

【事後学修】学習内容を活かし推敲に取り組む。わかりやすい文章の書き方を意識し、そのスキルの向上に努める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考書】授業内で指示する

科目名	文章表現		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

様々なタイプの文章を書くことで、大学生に求められるアカデミックな表現力を身につける。読み手を意識した伝わる文章を書く。

科目の概要

自己PR、Eメール、説明文、意見文などの文章の執筆を通して、目的にあわせて文章を論理的に構成する力を習得する。そのうえで、就職活動を意識した実践的な文書作成能力を身につける。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせないアカデミックな文章作成技法を身につける。

学修目標

文章の基本的な書き方を理解し、その知識を日々の学習に活かす。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものである。

受講生の主体的・積極的な取り組みを期待する。

1	ガイダンス
2	話しことばと書きことば
3	論理的な表現とは
4	指示表現と接続表現
5	効果的な自己PR文を書く
6	自己PR文を推敲する
7	意見文を書く
8	意見文を推敲する
9	レポートを書く(1)
10	レポートを書く(2)
11	履歴書を書く(1)
12	履歴書を書く(2)
13	履歴書を書く(3)
14	就職試験における課題作文について
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(40%) 学期末に課す課題(60%) 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】スケジュールに従い、該当の学習部分について目を通す。自らの文章力について振り返る。

【事後学修】学習内容を活かし推敲に取り組む。わかりやすい文章の書き方を意識し、そのスキルの向上に努める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考書】授業内で指示する

科目名	文章表現		
担当教員名	船戸 はるな		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	留学生のための日本語		
担当教員名	船戸 はるな		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日常生活に必要とされる基本的な語彙や文法項目を学ぶとともに、日本語らしい表現の習得と日本語運用能力の向上を目指す。

科目の概要

実践的な問題を多く解き、文法や文字・語彙などの言語知識を高める。日常生活の様々な場面を想定したタスクを行い、コミュニケーション能力を伸ばす。

学修目標

日本語能力試験N2合格レベルの日本語力を習得する。

内容

毎回、簡単な小テストを行い、理解の確認を行います。なお、授業内容・スケジュールは、受講生の人数や興味・関心などに基づいて調整する可能性があります。毎回の授業では、4つの技能をバランスよく学んでいきますが、以下、各回において重点的に扱う学習項目を挙げます。また、日本語能力試験の試験対策も講義内で行います。

【前期】

1回目 ガイダンス・確認テスト

2回目 確認テスト解説

3回目～4回目 漢字

5回目～6回目 語彙

7回目～8回目 聴解

9回目～11回目 文法

12回目～14回目 読解

15回目 まとめ

【後期】

16回目 確認テスト

17回目 確認テスト解説

18回目～19回目 漢字

20回目～21回目 語彙

22回目～23回目 聴解

24回目～26回目 文法

27回目～29回目 読解

30回目 まとめ

評価

小テスト（30％）課題への取り組み（20％）期末テスト（50％） 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】該当学習箇所の予習を行う。わからない語彙は調べておく。

【事後学修】該当学習箇所に関して、担当教員から出された課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	留学生のための日本語		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日常生活に必要とされる基本的な語彙や文法項目を学ぶとともに、日本語らしい表現の習得と日本語運用能力の向上を目指す。また、レポート・論文作成に必要なアカデミックな日本語を学ぶ。

科目の概要

実践的な問題を多く解き、文法や文字・語彙などの言語知識を高める。日常生活の様々な場面を想定したタスクを行い、コミュニケーション能力を伸ばす。また、自身の興味・関心に基づいたレポートを作成する。

学修目標

日本語能力試験N1合格レベルの日本語力を習得する。

内容

毎回、簡単な小テストを行い、理解の確認を行います。なお、授業内容・スケジュールは、受講生の人数や興味・関心などに基づいて調整する可能性があります。毎回の授業では、4つの技能(読む・書く・聞く・話す)をバランスよく学んでいきますが、以下、各回において重点的に扱う学習項目を挙げます。また、日本語能力試験の試験対策も講義内で行います。

【前期】

1回目 ガイダンス・確認テスト

2回目 確認テスト解説

3回目～4回目 漢字

5回目～6回目 語彙

7回目～8回目 聴解

9回目～11回目 文法

12回目～14回目 読解

15回目 まとめ

【後期】

16回目 確認テスト

17回目 確認テスト解説

18回目～19回目 日本語能力試験N1の試験対策

20回目～21回目 レポートの表現を学ぶ

22回目～23回目 レポート作成のための調査・構想メモの作成

24回目～26回目 レポート作成

27回目～29回目 レポートの推敲

30回目 まとめ

評価

小テスト（30％）課題への取り組み（20％）期末テスト（50％） 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】該当学習箇所の予習を行う。わからない語彙は調べておく。

【事後学修】該当学習箇所に関して、担当教員から出された課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	留学生のための日本語		
担当教員名	富田 裕香		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	2	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日常生活に必要とされる基本的な語彙や文法項目を学ぶとともに、日本語らしい表現の習得と日本語運用能力の向上を目指す。また、レポート・論文作成に必要なアカデミックな日本語を学ぶ。

科目の概要

実践的な問題を多く解き、文法や文字・語彙などの言語知識を高める。日常生活の様々な場面を想定したタスクを行い、コミュニケーション能力を伸ばす。また、自身の興味・関心に基づいたレポートを作成する。

学修目標

日本語能力試験N1合格レベルの日本語力を習得する。

内容

毎回、簡単な小テストを行い、理解の確認を行います。なお、授業内容・スケジュールは、受講生の人数や興味・関心などに基づいて調整する可能性があります。毎回の授業では、4つの技能(読む・書く・聞く・話す)をバランスよく学んでいきますが、以下、各回において重点的に扱う学習項目を挙げます。また、日本語能力試験の試験対策も講義内で行います。

【前期】

1回目 ガイダンス・確認テスト

2回目 確認テスト解説

3回目～4回目 漢字

5回目～6回目 語彙

7回目～8回目 聴解

9回目～11回目 文法

12回目～14回目 読解

15回目 まとめ

【後期】

16回目 確認テスト

17回目 確認テスト解説

18回目～19回目 日本語能力試験N1の試験対策

20回目～21回目 レポートの表現を学ぶ

22回目～23回目 レポート作成のための調査・構想メモの作成

24回目～26回目 レポート作成

27回目～29回目 レポートの推敲

30回目 まとめ

評価

小テスト（30％）課題への取り組み（20％）期末テスト（50％） 60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】該当学習箇所の予習を行う。わからない語彙は調べておく。

【事後学修】該当学習箇所に関して、担当教員から出された課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講時に指示する

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	英語		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

英語の4技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の総合的学習。

科目の概要

映画『ノッティングヒルの恋人』の中で、日常的に必要な表現や語彙、文法事項が実際に会話の中でどのように使われているかを確認し、それらを使いこなせるように様々なエクササイズを通して習得していく。

学修目標（＝到達目標）

英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指す。

内容

第1週	ガイダンス	第2週	Unit 1 Notting Hill-Not a Bad Place
第3週	推測、可能性の表現	第4週	Unit 2 Surreal, But Nice
第5週	wouldを用いた表現	第6週	Unit 3 I'll Be Your Date
第7週	仮定法を用いた表現	第8週	理解度の確認
第9週	Unit 4 Miracles Do Happen	第10週	完了形を用いた表現
第11週	Unit 5 Do You Want to Come Up?	第12週	仮定法と完了形を用いた表現
第13週	Unit 6 Nice Surprise or Nasty Surprise	第14週	関係詞を用いた表現
第15週	まとめ	第16週	チャンク表現
第17週	Unit 7 These Are Such Horrible Pictures	第18週	疑問詞と不定詞を用いた表現
第19週	Unit 8 Breakfast in Bed? Or Lunch or Brunch	第20週	比較を用いた表現
第21週	Unit 9 Our Perspectives Are Different	第22週	形容詞化過去分詞を用いた表現
第23週	理解度の確認	第24週	Unit 10 Wait! There Are Things to Say
第25週	前置詞onを用いた表現	第26週	Unit 11 Don't Forget-I'm Also Just a Girl
第27週	付加疑問を用いた表現	第28週	Unit 12 Where's the Press Conference?
第29週	前置詞inを用いた表現	第30週	まとめ

評価

授業への参加度20%、レポート10%、試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

意味の分からない語句や、各単元で扱われている表現や文法事項について事前に調べておくこと。

【事後学修】

授業内で学習した表現については必ず復習し覚えるようにすること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

梶本浩美/濱田真由美、English Grammar in Focus、マクミラン・ランゲージハウス

【参考図書】

辞書、参考書類は最初の授業で紹介する。

科目名	英語		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格： この科目は、基礎科目（外国語リテラシー）の選択必修科目で、卒業単位として加算されます。

科目の概要： この科目は初級レベルで、英語を基礎から学ぶことを目的としています。身近なこと（自己紹介、友人、出身地、学生生活、アルバイト、休日の過ごし方など）を、簡単な英語や画像を用いて、学生一人ひとりがミニアルバムを作成しながら、基礎的な表現力を身につけます。また、英語の歌を通して、英語のリズムや発音も学びます。

学修目標（＝到達目標）： 自分の身の回りのこと、日常的なことにに関して、簡単な英語で話ることができるようになることを目標とします。

内容

第1週 コース紹介
 第2 - 4週 自分・家族・誕生日・出身地などについて
 第5 - 8週 友人・学校生活・授業・アルバイトなどについて
 第9 - 11週 アルバイト・クラブ活動・日常生活について
 第12 - 14週 趣味・レジャー・特技などについて
 第15週 前期のまとめ（発表を含む）

第16週 後期ガイダンス
 第17 - 18週 夏休みの活動について
 第19 - 21週 理想の家・パートナーについて
 第22 - 24週 クリスマスカード作成
 第25 - 27週 新年の過ごし方など
 第28 - 29週 行ってみたい海外の国など
 第30週 後期のまとめ（発表を含む）

評価

授業への参加度・課題（70点）、発表（30点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】担当教員の指示に従い、ミニアルバム作りの文面や画像を準備する。
- 【事後学修】文面やレイアウトなどの修正。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に教科書は使用しません。プリントなどを使用します。

科目名	英語		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	00クラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

科目の概要

学修目標（=到達目標）

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	中国語入門		
担当教員名	池間 里代子、仇 暎芸		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり急速に経済が発展している中国で使われている中国語の基礎を学びます。

言葉を学ぶには背景にある歴史・文化・国民性などを知ることもまた必要です。この授業ではこれらにも留意しながら、楽しく学びます。

科目の概要

中国語の2大特徴である「声調」と「孤立語」を理解し、実践していきます。「声調」とは音の上げ下げによって意味を区別するもの、「孤立語」とは活用形がないこと、です。テキストに沿って易から難へと学習します。

学修目標

中国語検定試験準4級に合格できる実力をつけます。

中国語で自己紹介ができるようにします。

内容

第1回	発音・簡単な挨拶	第16回	中国語の文型
第2回	第1課人称代名詞	第17回	第7課介詞・反復疑問
第3回	第1課復習・練習	第18回	第7課復習・練習
第4回	第2課疑問詞・副詞	第19回	第8課時間量・助動詞
第5回	第2課復習・練習	第20回	第8課復習・練習
第6回	第3課動詞述語文	第21回	第9課アルペクト助詞
第7回	第3課復習・練習	第22回	第9課復習・練習
第8回	第4課量詞・形容詞文	第23回	第10課助動詞・補語
第9回	第4課復習・練習	第24回	第10課復習・練習
第10回	第5課完了形・助動詞	第25回	第11課進行形・選択疑問
第11回	第5課復習・練習	第26回	第11課復習・練習
第12回	第6課数字・日付	第27回	第12課比較表現
第13回	第6課復習・練習	第28回	第12課復習・練習
第14回	まとめ	第29回	まとめ
第15回	確認	第30回	確認

評価

平常点（授業での取り組み・課題提出など）50%、試験50%の割合で評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら、「別冊問題集」がありますのでそれを仕上げた先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずで

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：『中国語はじめの一步（改訂版）』白水社

参考書：『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	中国語入門		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり急速に経済が発展している中国で使われている中国語の基礎を学びます。

言葉を学ぶには背景にある歴史・文化・国民性などを知ることもまた必要です。この授業ではこれらにも留意しながら、楽しく学びます。

科目の概要

中国語の2大特徴である「声調」と「孤立語」を理解し、実践していきます。「声調」とは音の上げ下げによって意味を区別するもの、「孤立語」とは活用形がないこと、です。テキストに沿って易から難へと学習します。

学修目標

中国語検定試験準4級に合格できる実力をつけます。

中国語で自己紹介ができるようにします。

内容

第1回	発音・簡単な挨拶	第16回	中国語の文型
第2回	第1課人称代名詞	第17回	第7課介詞・反復疑問
第3回	第1課復習・練習	第18回	第7課復習・練習
第4回	第2課疑問詞・副詞	第19回	第8課時間量・助動詞
第5回	第2課復習・練習	第20回	第8課復習・練習
第6回	第3課動詞述語文	第21回	第9課アルペクト助詞
第7回	第3課復習・練習	第22回	第9課復習・練習
第8回	第4課量詞・形容詞文	第23回	第10課助動詞・補語
第9回	第4課復習・練習	第24回	第10課復習・練習
第10回	第5課完了形・助動詞	第25回	第11課進行形・選択疑問
第11回	第5課復習・練習	第26回	第11課復習・練習
第12回	第6課数字・日付	第27回	第12課比較表現
第13回	第6課復習・練習	第28回	第12課復習・練習
第14回	まとめ	第29回	まとめ
第15回	確認	第30回	確認

評価

平常点（授業での取り組み・課題提出など）50%、試験50%の割合で評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら、「別冊問題集」がありますのでそれを仕上げで先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずで

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：『中国語はじめの一步（改訂版）』白水社

参考書：『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	中国語入門		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり急速に経済が発展している中国で使われている中国語の基礎を学びます。

言葉を学ぶには背景にある歴史・文化・国民性などを知ることもまた必要です。この授業ではこれらにも留意しながら、楽しく学びます。

科目の概要

中国語の2大特徴である「声調」と「孤立語」を理解し、実践していきます。「声調」とは音の上げ下げによって意味を区別するもの、「孤立語」とは活用形がないこと、です。テキストに沿って易から難へと学習します。

学修目標

中国語検定試験準4級に合格できる実力をつけます。

中国語で自己紹介ができるようにします。

内容

第1回	発音・簡単な挨拶	第16回	中国語の文型
第2回	第1課人称代名詞	第17回	第7課介詞・反復疑問
第3回	第1課復習・練習	第18回	第7課復習・練習
第4回	第2課疑問詞・副詞	第19回	第8課時間量・助動詞
第5回	第2課復習・練習	第20回	第8課復習・練習
第6回	第3課動詞述語文	第21回	第9課アルペクト助詞
第7回	第3課復習・練習	第22回	第9課復習・練習
第8回	第4課量詞・形容詞文	第23回	第10課助動詞・補語
第9回	第4課復習・練習	第24回	第10課復習・練習
第10回	第5課完了形・助動詞	第25回	第11課進行形・選択疑問
第11回	第5課復習・練習	第26回	第11課復習・練習
第12回	第6課数字・日付	第27回	第12課比較表現
第13回	第6課復習・練習	第28回	第12課復習・練習
第14回	まとめ	第29回	まとめ
第15回	確認	第30回	確認

評価

平常点（授業での取り組み・課題提出など）50%、試験50%の割合で評価し、60%以上を合格とします。

授業外学習

テキストにはCDが付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。一つの課が終わったら、「別冊問題集」がありますのでそれを仕上げた先生に添削してもらいましょう。ぐっと力が付くはずで

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：『中国語はじめの一步（改訂版）』白水社

参考書：『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	ハンゲル入門		
担当教員名	チョ ヒ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

ハンゲルだけを勉強するだけでなく、韓国の文化や社会、トレンドなどを理解し、文化の多様性を理解した上でグローバル社会で活躍することのできる資質と能力をみにつける。

科目の概要

前期は、ハンゲルの文字や発音を習得しながら、基本的な文法を使って簡単な会話をする。

後期は、動詞の活用形を学び、日記や簡単な手紙を書く練習を行う。また、実践的な会話のトレーニングを多く行うことで、基本的なコミュニケーションの力を身につける。

学修目標（=到達目標）

「ハンゲル」の文字・発音・基本的な文法を知り、韓国語の簡単な日常会話を習得し、ドラマや音楽を通じて、韓国の様々な文化にも触れる。

「ハンゲル能力検定5級」「ハンゲル能力検定4級」レベルの理解力を目標とする。

内容	
1	挨拶 1 （ハンゲルの仕組み）挨拶 2 （自己紹介・文字入門）
2	空港 1 （場所の表現・韓国の地図）空港 2 （何処ですか）
3	日韓の比較 1 DVD鑑賞（衣・食・住・教育・若者...）
4	食堂 1 （指示代名詞・何ですか）食堂 2 （注文してみましよう！）
5	ゼミ 1 韓流につて （人気ドラマやアイドルなど）
6	買い物 1 （漢数字・値段・日にち）買い物 2 （買い物をしてみましよう！）
7	単語ゲーム、数ゲーム
8	前期復習 映画鑑賞『建築学概論』
9	カフェ 1（～したい、～したがる）カフェ 2（固有数字・助数詞）
10	エンタテイメント 1（時間を言ってみる）エンタテイメント 2（過去形）
11	ゼミ 2 韓流について
12	エステ 1（理由の表現、～ので）エステ 2（命令の表現、～して下さい）
13	友達の家 1（敬語）友達の家 2（未来意志の表現、～つもり）
14	ハンゲルで手紙を書いてみよう
15	後期復習 映画鑑賞『『7番房の奇跡』

評価

授業への取り組みと参加50%、定期試験50%で総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】テキストの単語と表現を読んてくる。

【事後学修】練習問題を解いてみる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】チョ ヒ・身につく韓国語（みにつくハングル）・株式会社アップフロントブックス

【推薦書】ハングル能力検定協会・「ハングル」能力試験過去問題集 5 級、4 級

韓国国立国際教育院・韓国語能力試験 初級 過去問題集・三修社

【参考図書】ハングル能力検定協会・ハングル検定公式ガイド合格トウミ

科目名	フランス語入門		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

担当教員はネイティブ・スピーカーとして、発音訓練や会話の練習を積極的に行なう。一方、平明な日本語で基本的な文法を説明しながら、あせることなく学生とともに中級程度のフランス語のレベルを目差し、実際に使えるフランス語を教えてゆく。？

内容

東京日仏学校（LCFJT）で開発された教科書『Pourquoi Pas ?』（白水社）の第1課～第5課に添って、次のポイントを学習してゆく。また、フランス短編映画の鑑賞などを通じて、随時日仏比較文化に関する授業内容も盛り込む。

1：フランス語の基本的な発音と文字の読み方（複合母音、鼻母音など） 2：不定冠詞・定冠詞 3：etre とavoir の活用 4：形容詞 5：第1課に関するミニ・テスト 6：フランス文化講座 7：複数形 8：疑問形 9：否定形 10：数字 11：第2課に関するミニ・テスト 12：フランス文化講座 13：場所と時間の前置詞 14：天気に関する表現 15：avoir を使った様々な表現 16：指示形容詞 17：第3課に関するミニ・テスト 18：フランス文化講座 19：所有形容詞 20：人称の強勢形 21：疑問代名詞 22：曜日、日付け、数字に関する表現 23：第4課に関するミニ・テスト 24：フランス文化講座 25：部分冠詞 26：量の表し方 27：現在形の動詞活用・復習 28：複合過去 29：第5課に関するミニ・テスト 30：フランス文化講座？

評価

20分ほどの短いテストを5回実施する（20点×5、全テストの合計が60点以上を合格とする）。出席は授業回数の3分の2を必要とする。？

授業外学習

ミニ・テスト（5回）に向けての事後学修が必要になる。事前予習は特に要求しないが、授業によって「宿題」を出す場合もある。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

担当教員が『Pourquoi pas ?』（『プルコワ・パ？』（P-G・ドゥロルム、白水社、1991版）第1～第5課のコピーを用意し、前期第2回と第3回の授業の際、まとめて学生に配る。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、コミュニケーション力を高める授業の一部で、情報リテラシーの中に含まれる必修で開講されるコンピュータ演習の基礎になる授業です。同じ授業を複数開講します。グレードに合わせたクラスで受講し、それぞれの力を伸ばしましょう。

この科目の後にある、情報処理演習 につなげていきます。

この講座は、Office2013対応のWindows 8を使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

学修目標は、今日の社会に不可欠となったコンピュータについて1年間学びます。現在では、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばしていきます。

1.基本的な操作方法を習得。2.高校生までの苦手意識を克服。3.情報を処理する基本技術を完全に習得する。これらを目標に反復しながら身につけていきましょう。

内容

- 1.コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
- 2.パソコンの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
- 3.学内ネットワークの理解 パスワード変更 フォルダー管理
- 4.文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
- 5.細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8.文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
- 9.インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
- 10.ワープロを駆使した作品を作成する 履歴書や請求書を作る
- 11.パワーポイント 資料を作る
- 12.パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
- 13.Wordのおさらい
- 14.前期まとめ
- 15.まとめ2
- 16.エクセルを使ってみる。セルの扱いと表の役割（表の読み取りかた）
- 17~18.エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20.エクセルの活用 グラフの作成 シートの扱い
- 21.簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24.エクセル関数を活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26.パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27.プレゼンテーションのあり方

評価

通常の授業の態度60点 課題40点、前期・後期末のテスト100点、合計が120点以上を合格とする。

その他、演習科目に準じ、欠席が通年6回未満を条件とし、課題が提出期限及び要求水準を満たしていることを条件とします。

授業外学習

【事前予習】使用する教科書の、次回学習する箇所の打ち込みを終わらせて来る。

【事後学修】それぞれ授業で学習したLesson について、1問の練習問題を宿題とする。それにより、授業以外の場でも、パソコンに慣れることを目的とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】実教出版の教科書を使用予定。 第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を各自で用意し、教科書とともに毎回の授業に持参してください。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	石川 敬史		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、コミュニケーション力を高める授業の一部で、情報リテラシーの中に含まれる必修で開講されるコンピュータ演習の基礎になる授業です。時間内に複数のクラスを開講していきます。グレードに合わせたクラスで受講し、それぞれの力を伸ばしましょう。

この科目の後にある、情報処理演習 につなげていきます。

この講座は、Office2013対応のWindows 8を使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

学修目標は、今日の社会に不可欠となったコンピュータについて1年間学びます。現在では、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばしていきます。

1.基本的な操作方法を習得。2.高校生までの苦手意識を克服。3.情報を処理する基本技術を完全に習得する。これらを目標に反復しながら身につけていきましょう。

内容

- 1.コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
- 2.パソコンの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
- 3.学内ネットワークの理解 パスワード変更 フォルダー管理
- 4.文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
- 5.細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8.文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
- 9.インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
- 10.ワープロを駆使した作品を作成する 履歴書や請求書を作る
- 11.パワーポイント 資料を作る
- 12.パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
- 13.Wordのおさらい
- 14.前期まとめ
- 15.まとめ2
- 16.エクセルを使ってみる。セルの扱いと表の役割（表の読み取りかた）
- 17~18.エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20.エクセルの活用 グラフの作成 シートの扱い
- 21.簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24.エクセル関数を活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26.パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27.プレゼンテーションのあり方

28～29総合実習 ワード・エクセルでビジネス文書づくり

30.後期まとめ(テストもあり)

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】使用する教科書の、次回学習する箇所の打ち込みを終わらせて来る。

【事後学修】それぞれ授業で学習したLesson について、1問の練習問題を宿題とする。それにより、授業以外の場でも、パソコンに慣れることを目的とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】実教出版の教科書を使用予定。 第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	高倉 佐和		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、コミュニケーション力を高める授業の一部で、情報リテラシーの中に含まれる必修で開講されるコンピュータ演習の基礎になる授業です。時間内に複数のクラスを開講していきます。グレードに合わせたクラスで受講し、それぞれの力を伸ばしましょう。

この科目の後にある、情報処理演習 につなげていきます。

この講座は、Office2013対応のWindows 8を使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

学修目標は、今日の社会に不可欠となったコンピュータについて1年間学びます。現在では、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばしていきます。

1.基本的な操作方法を習得。2.高校生までの苦手意識を克服。3.情報を処理する基本技術を完全に習得する。これらを目標に反復しながら身につけていきましょう。

内容

- 1.コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
- 2.パソコンの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
- 3.学内ネットワークの理解 パスワード変更 フォルダー管理
- 4.文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
- 5.細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8.文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
- 9.インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
- 10.ワープロを駆使した作品を作成する 履歴書や請求書を作る
- 11.パワーポイント 資料を作る
- 12.パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
- 13.Wordのおさらい
- 14.前期まとめ
- 15.まとめ2
- 16.エクセルを使ってみる。セルの扱いと表の役割（表の読み取りかた）
- 17~18.エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20.エクセルの活用 グラフの作成 シートの扱い
- 21.簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24.エクセル関数を活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26.パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27.プレゼンテーションのあり方

28～29総合実習 ワード・エクセルでビジネス文書づくり

30.後期まとめ(テストもあり)

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】使用する教科書の、次回学習する箇所の打ち込みを終わらせて来る。

【事後学修】それぞれ授業で学習したLessonについて、1問の練習問題を宿題とする。それにより、授業以外の場でも、パソコンに慣れることを目的とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】実教出版の教科書を使用予定。第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、コミュニケーション力を高める授業の一部で、情報リテラシーの中に含まれる必修で開講されるコンピュータ演習の基礎になる授業です。時間内に複数のクラスを開講していきます。グレードに合わせたクラスで受講し、それぞれの力を伸ばしましょう。

この科目の後にある、情報処理演習 につなげていきます。

この講座は、Office2013対応のWindows 8を使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

学修目標は、今日の社会に不可欠となったコンピュータについて1年間学びます。現在では、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばしていきます。

1.基本的な操作方法を習得。2.高校生までの苦手意識を克服。3.情報を処理する基本技術を完全に習得する。これらを目標に反復しながら身につけていきましょう。

内容

- 1.コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
- 2.パソコンの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
- 3.学内ネットワークの理解 パスワード変更 フォルダー管理
- 4.文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
- 5.細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8.文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
- 9.インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
- 10.ワープロを駆使した作品を作成する 履歴書や請求書を作る
- 11.パワーポイント 資料を作る
- 12.パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
- 13.Wordのおさらい
- 14.前期まとめ
- 15.まとめ2
- 16.エクセルを使ってみる。セルの扱いと表の役割（表の読み取りかた）
- 17~18.エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20.エクセルの活用 グラフの作成 シートの扱い
- 21.簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24.エクセル関数を活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26.パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27.プレゼンテーションのあり方

28～29総合実習 ワード・エクセルでビジネス文書づくり

30.後期まとめ(テストもあり)

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】使用する教科書の、次回学習する箇所の打ち込みを終わらせて来る。

【事後学修】それぞれ授業で学習したLessonについて、1問の練習問題を宿題とする。それにより、授業以外の場でも、パソコンに慣れることを目的とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】実教出版の教科書を使用予定。第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、基礎科目に開講される選択科目のコンピュータ演習の授業です。1年次の「情報処理演習」が基礎になっています。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣をつくとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につけます。主に、文書編集・表計算ソフトのより高度な操作技術を学びます。さらにAccessの基本操作とWebページのしくみを学習します。

学修目標(=到達目標)

- 1.文書編集ソフトを用いて、目的に合わせた文書作成ができる。
- 2.表計算ソフトを使って、集計表およびグラフを作成し、基礎的なデータ分析を行うことができる。
- 3.Webページのしくみを理解し、基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。
- 4.Accessデータベースの基礎を理解できる。

内容

内容 以下の内容は、履修する受講生の興味や授業の進度によって、多少変更する可能性があります。

1. 文書作成ソフトの操作(1年次の復習)
- 2~3. 文書作成ソフトの応用操作(ビジュアルな文書作成、論文・長文用の機能)
- 4~5. 表計算ソフトの活用(1) 表の作成と編集
- 6~7. 表計算ソフトの活用(2) 数式・関数の利用
8. 表計算ソフトの活用(3) 目的に応じたグラフの作成
9. 表計算ソフトの活用(4) データの並べ替えと抽出
10. 表計算ソフトの活用(5) データの集計・分析
- 11~12. MovieMakerの活用(1) プレゼンテーションの技法
- 13~14. MovieMakerの活用(2) プレゼンテーション資料の作成
15. MovieMakerの活用(3) プレゼンテーション資料を用いた発表
16. Web利用の徹底 資料の収集・データの整理と分析
- 17~18. Webページの作成(1) 基本的なHTMLタグの使い方
- 19~20. Webページの作成(2) 画像の配置、リンクの設定
- 21~22. Webページの作成(3) サイトの設計と作成

- 23～24. データベースの基礎(1) Accessの基本操作
- 25～26. データベースの基礎(2) テーブルの操作
- 27～28. データベースの基礎(3) データベースの設計と作成
29. 応用課題演習 ソフトの統合利用
30. まとめ

評価

テーマ毎の課題作成(60%)、通常の授業態度(40%)により評価を行います。
その他、演習科目に準じ、欠席が通年6回未満で評価を受けることができます。
ただし、連絡をすれば就職活動は優先します。

授業外学習

- 【事前予習】次回演習内容に関して指定された資料を読み、わからない点を明確にして授業に臨む。
- 【事後学修】授業中に提示された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】電子資料を随時配布する

科目名	実務情報処理		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

基礎科目に位置し、十文字学-社会人基礎力(キャリア関係資格科目)のコンピュータ演習の授業です。「情報処理演習」の内容をさらに発展させ、特に、パソコンの検定に挑戦し、資格を取得することを目指しています。履修者は、基本的な情報機器の操作ができることが条件で、検定を目指している方にお勧めします。

科目の概要

Windows8を使用し、Word、Excelのより高度な操作技術を学んでいきます。授業では、毎回のテーマについて説明した後、練習問題を用いて確実に操作方法を身に付けるようにしていきます。また、模擬テストも取り入れ、本試験に備えます。

学修目標(=到達目標)

資格の取得に向けた総合的なスキルと、社会で求められる実践力を養っていきます。

内容

授業は下記15回を予定していますが、それぞれが目指す検定に合わせて、練習問題も用意しますので、早めに受験したい検定試験を教員に伝えてくださると効率的です。

1	パソコンの検定について 出題範囲や学習の進め方
2	Wordの操作1 書式設定、コンテンツの操作
3	Wordの操作2 表の編集、差し込み印刷
4	Wordの操作3 参考資料、文書の校閲
5	Wordの操作4 文書の共有と管理
6	Wordの総合演習1 第1回模擬テスト・解説
7	Wordの総合演習2 第2回模擬テスト・解説
8	Excelの操作1 データの作成、操作
9	Excelの操作2 データと内容の書式の設定
10	Excelの操作3 数式や関数の活用、データベース機能
11	Excelの操作4 グラフや図の編集
12	Excelの操作5 データの共有とセキュリティの設定
13	Excelの総合演習1 第1回模擬テスト・解説
14	Excelの総合演習2 第2回模擬テスト・解説
15	まとめ

評価

授業出席40%。テーマごとの課題60%。

演習科目に準じ、欠席が通年6回未満で評価を受けることができます。ただし、連絡をすれば就職活動は優先します。

授業外学習

【事前予習】授業に遅れないように、課題の予習をしてください。

【事後学修】授業で残した演習問題を、確実に終わらせてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

FOM出版の検定問題集等を使用しますが、受験する検定内容によって、授業でお伝えします。

科目名	キャリアデザイン		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

学校生活・社会生活におけるコミュニケーションの重要性を理解し、社会人基礎力の根底にあるコミュニケーション力を養成する授業です。毎回異なる課題を設定してグループワークやプレゼンテーションを行い、他者とコミュニケーションし、自分の考えを表現する体験を重ねます。これによって、発言する「楽しさ」、学ぶ「楽しさ」、人とふれあう「楽しさ」を体感し、コミュニケーションに対する自信をつくります。

授業内容は下記のとおりを予定していますが、都合により変更する可能性もあります。

内容	
1	オリエンテーション～自己紹介を通してお互いを知る～
2	コミュニケーションスキル ～伝える力・聴く力
3	コミュニケーションスキル ～論理的思考・表現方法
4	コミュニケーションスキル ～表情と身振り手振り
5	コミュニケーションスキル ～スムーズな会話に必要なもの
6	アサーション ～さわやかな自己表現
7	アサーション ～DESC法
8	性格分析からみるコミュニケーション
9	チームビルディング
10	プレゼンテーションスキル～美しいプレゼンテーションとは？
11	プロジェクトワーク ～企画書の作成
12	プロジェクトワーク ～同上
13	プロジェクトワーク ～企画の最終発表
14	キャリアプラン作成～これからの私のために
15	仕事についてのキャリアプラン作成・まとめ

評価

毎回の課題に対する取り組み(70点)と平常の受講態度(30点)によって評価を行い、60点以上を合格とします。

授業外学習

- 【事前予習】前回の内容をしっかり振り返っておく。
- 【事後学修】授業で学習した内容を、ノートにまとめておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを配布します。

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	小林 実、高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会人に向けてのキャリア形成をサポートするために、就職活動に向けての基礎的な学力を向上させるための授業です。就職活動の第一歩であるSPIや一般常識の筆記試験をクリアできる力を育てます。前期に受講する「ビジネス基礎講座」の内容をふまえ、自分の弱点を発見し、それを克服しながら、就職試験に対応できる基礎学力を養います。

授業内容は下記のように予定していますが、都合により変更することもあります。

内容	
1	損益算
2	仕事算
3	速さ
4	通過・流水算
5	濃度
6	植木算・年齢算
7	n進法
8	場合の数・確率
9	場合の数・確率
10	グラフと領域
11	資料の読み取り
12	集合・判断推理
13	集合・判断推理
14	図形
15	まとめ

評価

平常の受講態度(10点)、授業中のミニテスト(20点)、学期末の筆記試験(70点)により評価を行い、60点以上を合格とします。

授業外学習

- 【事前予習】テキストをよく読んでおく。
- 【事後学修】学習した内容の問題を、もう一度解く。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書については、オリエンテーション時に指示いたします。

科目名	ビジネス基礎講座		
担当教員名	小林 実、高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会へ出る前に必要となる基礎的な力を養う授業です。大学での勉強や就職活動のために役に立つ基礎力を確実に習得します。毎回、問題演習やミニテストを行いながら、高校生までに学んだ算数・数学の知識を復習したうえで、いかなる進路を選んだ場合でも役に立つ基礎的な学力を身につけます。

授業内容は下記のように予定していますが、都合により変更することもあります。

内容	
1	虫食い算・少数の性質と計算
2	分数の性質と計算
3	少数と分数の関係・割合
4	百分率と単位の換算
5	単位量当たりの大きさと比
6	正の数と負の数
7	方程式の基本
8	一次方程式の文章題
9	一次方程式の文章題
10	連立方程式の文章題
11	平行四辺形の性質と面積
12	三角形の面積と合同・相似
13	円とおうぎ形
14	角柱と円柱
15	まとめ

評価

授業中のミニテスト(20点)、学期末の筆記テスト(70点)、平常の受講態度(10点)により評価し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】テキストをよく読んでおく。

【事後学修】学習した内容の問題を、もう一度解く。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書については、オリエンテーション時に指示いたします。

科目名	ロジカルシンキング		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

講義、議論、発表から成り立ちます。社会人基礎力である論理的に考え、伝える力を身につけます。 様々なテーマについて論理的に考え、自分の考えをしっかりと相手に伝えることが出来るよう、前半に理論を学び、後半にはグループ討議と発表を行います。 論理的思考力を身につけること。本科目と後期の「プレゼンテーションスキルズ」は就職活動に必ず役立ちますので受講を強く勧めます。

内容

講義(インプット)だけでなく、演習(アウトプット)を通じて思考法等について学んでいきます。

1	授業計画の説明、導入(ロジカルシンキングとは)
2	M E C E + 演習
3	ゼロベース思考 + 演習
4	フレームワーク思考 + 演習
5	オプション思考 + 演習
6	プロセス思考 + 演習
7	ロジカルシンキングのツール + 演習
8	ブレインストーミング + 演習
9	K J法 + 演習
10	ロジックツリー(1) + 演習
11	ロジックツリー(2) + 演習
12	ロジカルシンキング応用(1) + 演習
13	ロジカルシンキング応用(2) + 演習
14	ロジカルシンキング応用(3) + 演習
15	総括

評価

評価:平常点 30点、期末テスト 70点

授業外学習

【事前予習】翌週に使うプリントを読んでおくこと

【事後学修】演習プリント等

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に必要ありません。パワーポイントにて説明し、適宜プリントを配布します。

科目名	プレゼンテーションスキルズ		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会人基礎力の一つであるプレゼンテーションスキルに関する講義、ワーク、発表。第三者に自分の意見を伝えるのは思いのほか難しいものです。しかし、社会にでるとその機会は学生のとき以上に多くなります。そこで、本科目ではどのようにすれば効果的に自分の意見を第三者に伝えることができるかについて、講義、ワーク、発表を通じて習得します。(就職希望者は前期のロジカルシンキングとセットで受講することが望ましい) 人にわかりやすく説明することができること。

内容

プレゼンテーションについての理論を学んだあと、個人やグループによる演習を通じて、パワーポイントで発表します。

1	授業計画の説明、導入
2	プレゼンテーションとは何か
3	準備(1) 目的の明確化
4	準備(2) 情報収集(整理、分析)
5	準備(2) ストーリー構成
6	準備(2) ストーリー構成
7	文字、画像(ビジュアルエイド)の効果について
8	テーマに基づいたパワーポイント資料の作成
9	テーマに基づいたパワーポイント資料の作成
10	プレゼンテーション技法(態度、話し方など) +演習
11	プレゼンテーション技法(態度、話し方など) +演習
12	プレゼンテーションの準備
13	プレゼンテーション
14	プレゼンテーション
15	総括

評価

平常点(30点) プレゼンテーション(個人 or グループ)(50点) プレゼンテーション資料(20点)

授業外学習

- 【事前予習】翌週に使うプリントを読んでおくこと
- 【事後学修】演習プリントの実施

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、パワーポイントによる説明、プリントを配布します。

科目名	ビジネスマナー		
担当教員名	永井 キクヨ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

21世紀はマナーの時代と呼ばれている。

堅苦しいものと思われがちであるが、マナーを学ぶことにより、奥深さや面白さ、あたたかみを知り、自然に表現できることを目指す。

科目の概要

ビジネスマナー全般を学ぶ。なぜマナーが必要なのか、挨拶や言葉遣いの基本から自己分析、コミュニケーションなど。幅広い学びの中には、就職活動だけでなく社会に出てから役立つことが多くある。

学修目標(=到達目標)

1. マナーの基本を学び、表現できるようになる。
2. グループディスカッションを通じて、他者とのかかわりを学ぶ。
3. 事例研究やロールプレイングを通してマナーを体得する。

内容	
1	オリエンテーション～マナーはなぜ必要か～
2	マナーの基本～第一印象の重要性～
3	信頼される話し方
4	好感をもたれる聴き方
5	円滑なコミュニケーション1
6	円滑なコミュニケーション2
7	電話対応1
8	電話対応2
9	自己分析
10	社会の基本ルール1
11	社会の基本ルール2
12	社会の基本ルール3
13	信頼される女性としての振る舞い1
14	信頼される女性としての振る舞い2
15	まとめ

評価

通常の授業態度等（20点）、授業中の確認テスト（20点）、期末テスト（60点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】講義で事前に指示された内容については予習すること。

【事後学修】間違った問題、理解が浅い内容については再度確認。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時にプリントを配布。

科目名	オフィススキルズ		
担当教員名	永井 キクヨ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、秘書技能検定2級合格を目指している。

秘書検定の学びは、秘書を目指す人だけでなく、社会に出るすべての人の役に立つ。マナーだけでなく、会社の仕組みや仕事の仕方の基本、周囲の人たちとの良いコミュニケーションを築くためのエッセンスもあり、幅広い学びは社会に出て必要なことばかりである。

科目の概要

秘書検定の過去の問題を解きながら学んでいく。事例研究やロールプレイングなどを通して、社会に出た時のさまざまな場面に即応できる力を身に着ける。

学修目標(=到達目標)

1. 秘書検定2級合格を目指す
2. 過去の問題や事例研究などを通じて体得していく

内容	
1	オリエンテーション～秘書検定の重要性
2	職務知識
3	話し方と人間関係の結びつき1
4	話し方と人間関係の結びつき2
5	信頼される話しの聴き方
6	慶事・弔事のルール
7	企業と経営1
8	企業と経営2
9	ビジネス文書1
10	ビジネス文書2
11	一般知識1
12	一般知識2
13	一般知識3
14	一般知識4
15	まとめ

評価

通常の授業態度（20点）、授業中の確認テスト（20点）、期末テスト（60点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】講義で事前に指示された内容については予習すること。

【事後学修】間違った問題、理解が浅い内容について再度確認。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】秘書検定クイックマスター 2級 改訂新版 公益財団法人実務技能検定協会編（早稲田教育出版）

【推薦書】

【参考図書】

科目名	会計実務		
担当教員名	森 亮太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会現象としての会計現象を理解するためにも必須となる会計学の基礎を学ぶものです。講義では、会計に関する知識・能力を養い、簿記検定試験等、会計関連資格取得に向けた学習の土台を築きます。

科目の概要

複式簿記を用いた財務諸表の作成方法及び財務諸表の読み方を学習します。

学修目標(=到達目標)

本科目の学修目標は、以下の3点です。

- 簿記・会計の基礎を理解する。
- 企業の経済活動における簿記・会計の役割を理解する。
- 財務諸表の読み方を理解する。

内容

1	ガイダンス・会計とは
2	複式簿記とは
3	簿記一巡の手続
4	商品売買
5	現金・預金
6	手形取引
7	その他の取引
8	その他の取引
9	試算表の作成
10	決算整理
11	決算整理
12	決算整理
13	伝票会計
14	演習
15	まとめ

評価

授業態度(30点)、レポート(30点)、試験(40点)により評価を行い、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

授業外学習

【事前予習】前回の授業で学習した内容の復習をしてきて下さい。

予習の時間は3時間程度を目安にするとよいでしょう。

【事後学修】プリント等の読み込みを行い，配布される演習問題を繰り返し解いて下さい。

これが次回の授業への事前予習となります。復習の時間は3時間が目安です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しません。プリントを配布します。

【推薦書】教室で紹介します。

【参考図書】教室で紹介します。

科目名	女性と食物		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格；女性と食物の科目は、基礎科目（選択）に位置付けられている。

科目の概要；今世紀は女性がますます社会において活躍できる時代と言われている。しかしながら一方で女性の体を取巻く環境は苛酷な状況を迎えつつある。そこで、この授業では、女性としての自分自身の健康について現在の状況を把握し、女性が健康であることの重要性について意識してもらい、自己コントロールすることの大切さを認識してもらいたいと思う。

女性として健康を維持するための食物とのかかわり方を歴史、環境、生活そして食材の品質や味覚といったさまざまな方面からテーマを取り上げ、体験し考えながら授業を進めたいと思う。

学修目標；

- 1．自分の食生活と健康の関係について考えることができるようになる。
- 2．食生活を取り巻く現在の環境状況について意識できるようになる。
- 3．食物の大切さを理解できるようになる。

内容

1	現在の食生活と健康
2	食事バランスガイドについて
3	自分の健康状況の把握
4	健康を維持するための食品とは（栄養と食品）
5	新たな食品（保健機能食品など）とのかかわり方
6	食物を取巻く環境について1
7	食物を取巻く環境について2
8	食品の安全性について
9	食材の選び方
10	ライフステージ別（妊産婦）の食生活
11	ライフステージ別（乳幼児）の食生活
12	ライフステージ別（成人から高齢者）の食生活
13	調理実習
14	調理実習
15	まとめ

評価

平常点25点、レポート25点、期末テスト50点とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】日ごろから自分がどのような食品を摂取しているか観察する。

【事後学修】授業を通し、また日ごろの観察から疑問に思ったことを調べまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『新カラーチャート 食品成分表』教育図書株式会社

【推薦図書】藤城敏幸 著『生活と環境』 東京教学社

科目名	女性と教育		
担当教員名	綾井 桜子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、基礎科目のなかの「魅力的な女性の教養」の一つであり、選択科目です。

講義では、これまでの教育、学習経験を振り返りつつ、私たちが一人の自律した女性として、また人間として自己成長を遂げてゆくために参考になるであろう生き方を、女性はもちろんのこと、現代社会に生きる様々な人々の経験談、および多様な資料から知り、学びます。

学修目標は次の三つです。 女性としての自己成長を考えるために有益な資料を積極的に収集する。 近代～現代にかけての女性と教育をめぐる状況を多角的に理解する。 自分なりの考え方をもち。

内容

1	自己成長としての教育、女性とライフコース
2	データにみる女性と社会
3	データにみる女性と社会
4	女性の生き方に学ぶ
5	女性の生き方に学ぶ
6	女性の社会的役割、教育観の変容
7	教育史のなかの女性
8	教育史のなかの女性
9	教育史のなかの女性
10	映像からみる女性と教育
11	ケアすることと自己成長
12	育むことと自己成長
13	社会的環境のなかの女性 他国との比較
14	課題発表
15	課題発表

評価

レポート60点、課題への取り組み20点、発表20点による総合評価とし、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】授業にて提示する小課題に取り組む。1時間程度の準備が必要となる。また、レポート課題については、レポート作成だけでなく、プレゼンテーションの用意も含めて、よく準備を行うこと。

【事後学修】授業にて紹介する参考文献、そのほかの関連資料を各自、自主的にみつけ、読み、理解する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[テキスト]プリントを配布する。

[推薦書] 橘木俊詔『女性と学歴 女子高等教育の歩みと行方』勁草書房、2011年.

[参考図書]授業時に紹介する。

科目名	女性のための哲学		
担当教員名	渋谷 治美		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人生を豊かに生きる素養の一つとして、人間哲学への入門を試みる。

科目の概要

文学、映画、オペラなどの芸術作品を取り上げて、「人間とは何か」をともに考える。

学修目標(=到達目標)

古今東西のさまざまな芸術作品に少しでも触れることによって、「人間とは何か」について思索する態度を身につける。それによって、芸術家その人あるいは作中人物などの生き方、考え方、人生観に共感することのできる想像力、思索力を豊かにする。

内容

1	各学生のこれまでの芸術体験を話してもらい、共有する。そののち教師の芸術体験を伝える。
2	(以下、予定)森鷗外の短編を取り上げ、男女の間柄、時代と人生の関わり方、を考える。
3	ダリの絵画を取り上げ、深層心理について考える。そのさいにフロイトの学説を少し解説する。
4	シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』を取り上げ、純愛と悲劇の関係を考える。
5	モーツァルトのオペラ『ドン・ジョヴァンニ』を取り上げ、反モラルな生き方について考える。
6	『源氏物語』を取り上げ、この作品のさまざまな主題と魅力を共有する。(1)
7	同上(2)
8	世阿弥の能(謡曲)を取り上げ、人生の無常を考える。
9	宮沢賢治の童話を取り上げ、童話の魅力を語り合う。
10	ドストエフスキーの『罪と罰』を取り上げ、犯罪と人生と男女の関係について考える。
11	中原中也の詩を取り上げ、芸術家の人生の意味を考える。
12	トマス・マンの『魔の山』を取り上げ、青年の人間形成と戦争の関係を考える。
13	いくつかの仏教説話を取り上げ、庶民のさまざまな人生模様を想像する。
14	フランクのヴァイオリン・ソナタとプーレストの『失われた時を求めて』との関係性を味わう。
15	半年間の学習をどのように受け止めたかを、学生との対話を通して共有する。

評価

学期の間に実際に何か一つの芸術作品を読むないし観たうえで、講義で学んだことを活かしながら「人間とは何か」とい

う視点からレポートを提出してもらい(約1,200字)、60点満点で評価する、さらに、講義での発言の参加度、熱意、他の学生への説得性等を40点満点で評価し、総合評価60点以上を合格とする。12回以上の出席が条件。

授業外学習

【事前予習】新聞、テレビ、雑誌、インターネット等で日頃から芸術に関心を抱く。

【事後学修】講義で得た「人間とは何か」という課題意識を、社会事象全般に当てはめて思索する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】とくになし。

【推薦書】その都度、提示する。

【参考図書】渋谷治美『リア王と疎外 シェイクスピアの人間哲学』花伝社

科目名	女性と音楽		
担当教員名	藪崎 伸一郎		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は音楽の楽しみ方を、音楽の基本的な知識を学びながら、幅広い分野の音楽を取り入れて学んでいくことを主眼とした科目である。

科目の概要

クラシック音楽に限定せず、多くのジャンルの音楽に接し、歌唱を中心に様々な音楽表現を学び、各自が主体的に表現できるようになることを目指す。

学修目標

1. 人前でも臆せずに歌う事ができる。
2. 正しい発声法を体得する。
3. 様々な音楽に触れ、感性を磨く。

内容

1	ガイダンス
2	自分が好きな音楽について考える
3	声のしくみ
4	発声法と呼吸法
5	簡単な楽典と記譜法
6	わらべうた、唱歌、童謡について
7	ミュージカル作品の成り立ちと特徴
8	ミュージカル作品の鑑賞
9	日本語によるミュージカル作品の歌唱
10	英語によるミュージカル作品の歌唱
11	グループ単位での作品創作
12	グループ単位での作品発表
13	オペラ、オペレッタとは
14	現代のポップスについて
15	まとめ

評価

レポート(20%)、歌唱試験(20%)、グループ活動への取り組み(20%)、授業への参加度(40%)

授業外学習

【事前予習】 授業で取り上げる音楽作品について、概要を調べる。

【事後学修】 授業で学んだ事柄に関する書籍を読む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業資料配布。DVD・CDを使用し、授業で紹介していく。

科目名	くらしの中の美術		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

科目の概要

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

学修目標

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか？を、講義と実技を通して理解を深めていく。

1. 、プロローグ
2. 、感覚への刺激1
3. 感覚への刺激2
4. 感覚への刺激3
5. 感覚への刺激4
6. 感覚への刺激5
7. 感覚への刺激6
8. 感覚への刺激7
9. 、イメージの拡大・拡散1
10. イメージの拡大・拡散2
11. イメージの拡大・拡散3
12. イメージの拡大・拡散4
13. 、美術史の新しい視点
14. 、美術史の新しい視点

15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度 40% 課題作品の成果 60% を総合して評価する。

授業外学習

【事前予習】すべての感覚器官が柔軟に機能するよう体調管理に努めておくこと。

【事後学修】少しでも興味を持った行動は再度体験してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業の中で紹介していく。

科目名	くらしの中のEco		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

十文字学の魅力的な女性の教養に位置する選択科目です。近頃、身近になってきたE c oについて幅広く学び、正しいエコの知識を増やしてほしいと思います。

E c oには、エコロジーとエコノミーの意味があります。この講義では、その両方を学びます。世界的な規模での見方を学びつつ、身近にあるE c oも学び、正しくE c o活動に参加するということの大切さを学び、広い視野で社会に目を向ける機会になってほしいと思います。

漠然と聞いたことがある言葉やニュースの内容を自分の知識として身につくよう学修します。さまざまな事柄を体系的にとらえることができれば、社会の一員になる自信が持てるのではないのでしょうか。一般常識に目を向け、教養を広めることをねらいとしています。

内容

1	E c oとは? いろいろな「E c o」について
2	エコロジー (Ecology) について
3	「E c o」と環境問題について
4	日本のエコ活動について
5	「E c o」をしないと世界はどうなるのか
6	エコカーをとりまく環境について
7	エコノミー (Economy) について
8	「円高と円安」「日本の景気」について
9	税金について
10	日本と世界の関係
11	Ecoについて総合的に復習する
12	生活の中の身近なエコ活動
13	家庭の中でできるエコ活動
14	みんなができるエコ活動
15	まとめ(テスト)

評価

毎回行う小レポートと宿題(新聞記事)の質で50点。ディスカッションで20点、最後に行うテスト30点 総合して60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】毎回の授業ごとに、次の内容を通知するのでそれについての新聞記事を探してくる。

【事後学修】授業中にパワーポイントの資料からメモしたものを次回までにまとめてくる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、毎回、パワーポイントの資料を提示。時々、プリント教材を配布します。

科目名	くらしの心理学		
担当教員名	飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は基礎科目に開講される選択科目の授業です。

科目の概要

心理学は私たちのくらしにどのように役立つのでしょうか。効果的な記憶法とは？自分らしさとは？心の健康とは？本講義では、心理学の中から、特に大学生活に関連の深いトピックを取り上げ、日常生活に役立つ心理学的な知見を学んでいきます。具体的には、知覚、記憶、学習などの基礎分野から、人間の発達や他者との関わりの心理など、幅広い分野についてのテーマを学習していきます。

学修目標

心理学とはどのような学問かを理解し、心理学的な視点で日常を見つめ直すことができることを目標とします。授業では、簡単な実験や発表なども行っていただき、以下のような内容の理解を深めます。

1. 知覚・学習・記憶・思考などの心理学の基礎分野について理解できる
2. 人間の発達の様相や他者との関わりの心理について理解できる
3. 心の健康とは何か、カウンセリングにはどのような理論や方法があるか理解できる

内容

1	ガイダンス 心理学とは何か
2	動機づけ・情動 動機づけとは
3	記憶 記憶の仕組み
4	知覚 見る仕組み
5	性格1 性格をはかる
6	性格2 性格をとらえる理論
7	自己理解 自分自身について考える
8	発達 知的な発達・社会性の発達
9	対人関係 他者との関わりにおける心のはたらき
10	社会的影響 他者の存在の影響
11	リスク管理 説得の心理・思考のバイアス
12	心と身体 身体に着目して相手の心を理解する
13	心の健康とカウンセリング(1) ストレスと心の健康
14	心の健康とカウンセリング(2) カウンセリングの理論
15	まとめ

評価

授業への取り組み10点、授業内小レポート30点、試験60点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配付資料に目を通し、分からない用語については調べておくこと。

【事後学修】毎回の授業内容を、教科書や配付資料などを利用し、十分復習しておくこと。さらに、関心をもった事柄については調べてみることに。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】小山望著『人間関係がよくわかる心理学』福村出版

【参考図書】鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃『心理学第4版』東京大学出版会

その他、授業時に適宜紹介します。

科目名	くらしの中の憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語) / 中学校教諭二種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。
- 講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。
- 学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

- 第1回：主権者教育としての憲法学習の意味
- 第2回：立憲的意味の憲法(立憲主義)とは何か
- 第3回：日本国憲法の三大原理 - 国民主権
- 第4回：日本国憲法の三大原理 - 基本的人権の尊重
- 第5回：日本国憲法の三大原理 - 平和主義
- 第6回：基本的人権の種類と内容 - 自由権
- 第7回：基本的人権の種類と内容 - 平等権
- 第8回：基本的人権の種類と内容 - 社会権
- 第9回：基本的人権の種類と内容 - 参政権
- 第10回：基本的人権の種類と内容 - 請求権
- 第11回：日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第9条と平和保障
- 第12回：日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み
- 第13回：日本国憲法の構成と意味内容 - 財政の意味と役割、地方自治
- 第14回：憲法改正手続、憲法の最高法規性 - 憲法改正問題への視点
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

授業外学習

- 【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読
- 【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所を通読・点検・復習

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片居木・福岡・長野著『主権者となるあなたへ～日本国憲法からのメッセージ』サンウェイ出版

【参考書】参考書及び推薦書については、授業時、必要に応じて、紹介する。

科目名	くらしの中の憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語) / 中学校教諭二種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。
- 講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。
- 学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

- 第1回：主権者教育としての憲法学習の意味
- 第2回：立憲的意味の憲法(立憲主義)とは何か
- 第3回：日本国憲法の三大原理 - 国民主権
- 第4回：日本国憲法の三大原理 - 基本的人権の尊重
- 第5回：日本国憲法の三大原理 - 平和主義
- 第6回：基本的人権の種類と内容 - 自由権
- 第7回：基本的人権の種類と内容 - 平等権
- 第8回：基本的人権の種類と内容 - 社会権
- 第9回：基本的人権の種類と内容 - 参政権
- 第10回：基本的人権の種類と内容 - 請求権
- 第11回：日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第9条と平和保障
- 第12回：日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み
- 第13回：日本国憲法の構成と意味内容 - 財政の意味と役割、地方自治
- 第14回：憲法改正手続、憲法の最高法規性 - 憲法改正問題への視点
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

授業外学習

- 【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読
- 【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所を通読・点検・復習

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片居木・福岡・長野著『主権者となるあなたへ～日本国憲法からのメッセージ』サンウェイ出版

【参考書】参考書及び推薦書については、授業時、必要に応じて、紹介する。

科目名	着物の美学		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The aim of the course is to think about Japanese culture through a reexamination of Japan's national dress. This will be practical, theoretical and historical. Students will learn to wear everyday kimono, as well as learn about the history and the art of kimono making. Students will be learning about Japanese culture and its vocabulary and will be using English at the same time.

内容

Every week there will be practical session, when students learn to dress themselves in kimono and Nagoya obi. They will learn how to fold and care for kimono and how to wear a yukata and half width obi. They will also watch videos of kimono makers at work and learn about history and kimono culture.

1	Underwear. Folding kimono.
2	Kimono. Kimono wearing video.
3	Kimono. Making silk.
4	Kimono. Kimono history.
5	Kimono. Kimono types.
6	Kimono, obi. Obi wearing video.
7	Kimono, obi. Obi types.
8	Kimono, obi. Dyeing video.
9	Kimono, obi. Dyeing video.
10	Kimono, obi. Dyeing video.
11	Kimono, obi. Weaving video.
12	Kimono, obi. Weaving video.
13	Kimono dressing test. 15 minutes. Yukata.
14	Yukata, hanhaba obi.
15	Yukata, hanhaba obi. Final dressing and writing review.

評価

Participation 40%、Dressing test 30%、Written test 30%

授業外学習

【事前予習】Students must prepare their own tabi, susoyoke, h adajuban, and nagajuban. They must stitch on a collar and keep their underwear clean.

【事後学修】Students will be expected to practice wearing and folding, outside the the class.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

There is no text for this course.

Students need hada juban, susoyoke, (or lingerie) , tabi and a nagajuban.

科目名	着物の美学		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The aim of the course is to think about Japanese culture through a reexamination of Japan's national dress. This will be practical, theoretical and historical. Students will learn to wear everyday kimono, as well as learn about the history and the art of kimono making. Students will be learning about Japanese culture and its vocabulary and will be using English at the same time.

内容

Every week there will be practical session, when students learn to dress themselves in kimono and Nagoya obi. They will learn how to fold and care for kimono and how to wear a yukata and half width obi. They will also watch videos of kimono makers at work and learn about history and kimono culture.

1	Underwear. Folding kimono.
2	Kimono. Kimono wearing video.
3	Kimono. Making silk.
4	Kimono. Kimono history.
5	Kimono. Kimono types.
6	Kimono, obi. Obi wearing video.
7	Kimono, obi. Obi types.
8	Kimono, obi. Dyeing video.
9	Kimono, obi. Dyeing video.
10	Kimono, obi. Dyeing video.
11	Kimono, obi. Weaving video.
12	Kimono, obi. Weaving video.
13	Kimono dressing test. 15 minutes. Yukata.
14	Yukata, hanhaba obi.
15	Yukata, hanhaba obi. Final dressing and writing review.

評価

Participation 40%、Dressing test 30%、Written test 30%

授業外学習

【事前予習】Students must prepare their own tabi, susoyoke, hanhaba, and nagajuban. They must stitch on a collar and keep their underwear clean.

【事後学修】Students will be expected to practice wearing and folding, outside the the class.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

There is no text for this course.

Students need hada juban, susoyoke, (or lingerie), tabi and a nagajuban.

科目名	スポーツと健康		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、2年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように（無理のない程度に）努力する。
4. 和やかに、かつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

自分のからだを知り、心もからだも健康になれるような講義を組み込んだ実技中心の授業です。

1. 体力づくりやダイエットなど目的に応じた運動を理論も含め実技中心に学びます。
2. 球技を中心に様々なスポーツ種目を2～4週単位で行います。
3. 毎時間、ストレッチ・ウォーミングアップを入れ体力維持を図ります。
4. 年間で2～4週は健康に関する講義を取り入れます。
5. フィールドアスレチック、なわとび、手遊びなど身近に楽しめる運動も行います。
6. 出席カードを作成、毎時間授業の感想を記入し提出。それを元に出席管理を行います。

初回授業の案内

初回授業は記念ホール2Fメインアリーナで行ないます。運動ができる服装で、室内運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

評価

授業に対する意欲・関心・態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

授業外学習

【事前予習】種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を積極的に取り入れるように意識する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて授業時に指示します。

科目名	スポーツと健康		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、2年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように（無理のない程度に）努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。

自分のからだを知り、心もからだも健康になれるような講義を組み込んだ実技中心の授業です。

1. 体力づくりやダイエットなど目的に応じた運動を理論も含め実技中心に学びます。
2. 球技を中心に様々なスポーツ種目を2～4週単位で行います。
3. 毎時間、ストレッチ・ウォーミングアップを入れ体力維持を図ります。
4. 年間で2～4週は健康に関する講義を取り入れます。
5. フィールドアスレチック、なわとび、手遊びなど身近に楽しめる運動も行います。
6. 出席カードを作成、毎時間授業の感想を記入し提出。それを元に出席管理を行います。

初回授業の案内

初回授業は記念ホール2Fメインアリーナで行ないます。運動ができる服装で、室内運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

評価

授業に対する意欲・関心・態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技テスト20%とし、総合的に評価する。忘れものは

減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

授業外学習

【事前予習】種目のルールを事前に調べておくこと。

【事後学修】日頃から身体活動を取り入れるように意識する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて授業時に指示する。

科目名	日本語表現		
担当教員名	船戸 はるな		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	文章表現		
担当教員名	船戸 はるな		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	英語		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-基礎科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (= 到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】